

【声明】新たな署名運動と市民大集会開催について

6月議会において、野党提案の平得大俣への陸自配備計画の是非を問う住民投票条例案が7対13で否決されことに強く抗議する。防衛省による3回の住民説明会は、配備ありきの前提で、配備によるリスクや、軍事的抑止力への疑問、有事の際に標的になるのではという不安に応えず、何よりも市民の暮らしに対する視点がありません。防衛省は、「地元の理解とご協力をお願いしている」と言うけれど、周辺4地区公民館が反対決議をし、配備について計画中止、手続き中止を求める請願が継続審議中であり、「地元で理解が得られた」と到底判断することはできない。ミサイル基地配備は、市民の暮らし、島の未来にかかわる重大問題。市長・市議会の判断のもとになるのが市民の意思です。市民の意思を問う機会を否定した市議会（与党議員）と「住民投票はそぐわない」「基本的に全面的な拒否は考えていない」という市長に対し、国優先より市民ファーストでミサイル基地配備反対の意思を示すため、住民投票に代わる別紙「島のどこにもミサイル基地いらない！平得大俣の市有地を基地に提供(売却・賃貸など)しないことを求める」署名運動に取り組むものとする。

私たちは、政治的圧力と数の力でつぶし、奪われた地方自治、住民の意思表示を自らの運動で示すものです。国と地方は対等であり、市民の意思を問わず、市民の貴重な財産を処分することもミサイル基地配備も認めることはできない。これ以上の手続きの進行、既成事実を積み重ねることは許さない。

多くの市民とこの思いを一つに大運動に取り組むための「みんなで決めよう島の未来 市民大集会 ～市民ファーストでミサイル基地ストップ！～」を7月22日土曜日午後7時から市民会館大ホールで開催し、多くの市民の参加を呼びかけるものです。

2017年7月11日

石垣島に軍事基地をつくらせない市民連絡会

共同代表 上原 秀政
金城 哲浩
波照間 忠
嶺 井 善
八重 洋一郎